

# 令和5年度事業報告

令和6年6月  
介護老人福祉施設 亀保の里

亀保の里の運営方針である「利用者本位の施設作り～亀保の里で余生を送れて良かった～」を目指し、利用者・利用者家族が安心して利用できるよう利用者処遇及び、施設と地域との交流を推進してきた。前年度の介護報酬改定では、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年が目前となり、また次の2040年（少子化が進み、第2次ベビーブーム期の子ども達が64歳以上になる）も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図ることとされている。

- ① 「感染症や災害への対応力強化」・・・感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築
- ② 「地域包括ケアシステムの推進」・・・住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取組を推進
- ③ 「自立支援・重度化防止の取組の推進」・・・制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進
- ④ 「介護人材の確保・介護現場の革新」・・・喫緊・重要な課題として、介護人材の確保・介護現場の革新に対応
- ⑤ 「制度の安定性・持続可能性の確保」・・・必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る

この5つの柱を基本的な視点として、ますます重度化される高齢化社会に対し、ニーズに対応できる施設体制を整備するだけでなく、新規未経験職員の育成に努め、質の向上を図ることを最大の目標とした。しかし今年度も新型コロナウイルス等の感染症の為に平穏な日常が大きく変貌した。感染症対策の徹底により、施設内感染の蔓延は避ける事が出来たが、感染分類5類への移行することにより報告義務が行政から個人判断に切り替わることで感染状況の把握などできにくくなるリスクもあり、今までの感染症対策を見直しながら制限の解除に向けて努めていかなければならない。

## 〔利用者処遇〕

日常生活においては季節ごとのいろいろな行事も感染対策を行いながら実施し、出来る限り昼間の活動を増やすようにした。ゆっくりと（職員と利用者が寄り添い合って）過ごせる為に日常生活の支援に力を注いだ。そのため各階での特長を生かした催しや、時間の過ごし方などが増えた。衛生面では清潔を保持する為入浴については各階で行えるようになりゆっくりと入浴が行えるようになった（週4回月、木は個浴・リフト浴。火、金は特殊浴）実施。また、体調不良等で入浴出来ない方については看護職員と連携を図りながら清拭、更衣を行った。シーツ交換（週1回）・室内清掃はその都度出来るだけ行った。

利用者の重度化に伴い、医療を必要とする利用者も増えた。その為看護職員への24時間連絡体制の整備。喀痰吸引においても介護職員で対応できるように特定行為従事者研修を重ね、夜間帯においても必ず対応できるようにした。

感染流行時期においては、面会制限や外部感染（面会者等）しないよう、予防の観点から各所の殺菌器の設置や入館時の手指の消毒依頼を行った。利用者の口腔ケア・職員の手洗い等も徹底した。）

その他各種流行性の感染症に対しても看護職員が中心となり都度対策を図った。施設内の感染状況に応じて面会制限を行った。面会日(水・土・日14:00～16:00の10分間予約制)には常時ビデオ通話も可能とした。

- ・5月8日より5類に移行となり、1階の地域交流室における対面での面会の際のアクリル板を外す。
- ・9月20日より施設内でも陽性者が出た為対面での面会を辞める。
- ・10月11日より1階の地域交流室において対面での面会の再開
- ・12月31日より1月3日まで感染症対策として面会を中止
- ・1月28日より施設内で陽性者がでた為対面での面会を中止
- ・3月15日より対面での面会を再開

高齢者虐待の対応については身体拘束廃止委員会の際に参加者でWEBセミナーや資料を閲覧するようになった。

口腔ケアは食後2回実施するように徹底し、歯科医療機関との連携により月2回は歯科衛生士による専門的な口腔ケアを行い、口腔衛生管理の徹底を図ることで誤嚥性肺炎の予防に努めた。

医療面では入所時に出来る限り多くの情報収集に努め、日常の状態観察、医療機関との連携を行う。可能な限り予防接種は接種するように努める。結核予防法による胸写検査(年1回)を実施し、異常の早期発見に努めた。

施設内で褥瘡を作らないために、また早期治療に取り組む為のマニュアルを策定する。対策担当者を中心に年2回の委員会を開催し各職種が協働で対応を行い、その他医療機関との連携を図りながら対応した。

重度化への対応としてターミナルケアを遂行し、慣れた環境の中で、利用者・家族・職員に見守られながら終焉を迎えられるよう医療機関との連携を図りながら最善を努めた。

利用者の医療必要度が重度化の為、医療機関との連携を図りながら高度医療(胃ろう、経管栄養)の導入に対応できるよう外部研修にも積極的に参加し専門的知識を習得し、対応できるような体制を整えた。また今後は末期がんや透析患者の受け入れニーズにも対応していく必要がある。

機能訓練指導員及びリハビリ係を中心に機能訓練を利用者ごとの個別機能訓練実施計画書に基づき実施。天気のよい日は気分転換を兼ねて日光浴を都度行った。

・入院延べ日数 662日入院日を含める。(比較:令和4年度 1072日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院日数	38	86	126	105	49	90	42	22	44	10	22	28

・入院件数 37件(入院者27名) ・退院件数29件 ・退所件数6件 ・転院件数2件

[各サービス専門委員会報告]詳細については別紙実施報告書による  
入浴専門委員会…ゆっくりと安全に入浴していただくための取り組み。

- ・入浴時の安全な介助方法については各フロアで指導していく。
- ・各利用者の身体状況に合わせた入浴方法の定期的な検討(個浴、リフト浴、特殊浴)
- ・リフト浴及び特殊浴槽の設備点検を行い、安心して入浴してもらおう。
- ・入浴介助者の熱中症対策や身体的負担軽減の為、担当表を作成する。
- ・剥離のリスクの高い利用者に対する介護方法の徹底。

食事専門委員会…食事環境の整備及び口腔内の清潔に努め、自具等の検討。

- ・各職種が連携し、各利用者の栄養状態の把握及び経口摂取の継続に向けての情報収集(給食会議の参加)
- ・安全で楽しく食事をとっていただく為の勉強会や栄養補助食品のサンプリング
- ・行食食については見た目などにも食欲が感じられるよう努める。
- ・口腔ケアの更なる改善(月2回の全入所者へ歯科衛生士の専門的な口腔ケアの実施や指導)
- ・嚥下訓練(リズム体操)を改良し、あいうべ体操を組み込み、昼・夕食の1日2回実施を徹底。

## 排泄専門委員会…各利用者の排泄状況の把握、個々に合った排泄方法の検討

- ・各入所者の排泄サイクルを確認し、個人別排泄物品の検討を行い、紙おむつメーカーとの意見交換を行い、より快適に過ごせるよう努めていく。
- ・プライバシー保護の観点からも排泄臭の配慮を行っていく。
- ・「排便ケアについて」排便記録を量だけでなく形状についても記載(ブリストル便性状スケール)
- ・嘔吐、下痢の感染拡大を防ぐための処理方法の徹底について

## 移動移乗専門委員会…移動移乗の際の介護事故の防止及び技術・サービスの向上

- ・新人介護職員移乗介助研修会の開催
- ・各利用者に合った移動物品の選択
- ・移動物品の定期的点検及び修理。
- ・身体拘束廃止に向けた取り組み ( 赤外線センサー、センサーマットの管理 )

## 環境整備専門委員会…快適・安全に生活を送れるよう徹底する

- ・施設内の共用部(ごみ置き場、ベランダ、ピロティ等)の定期的な清掃
- ・施設周辺でも季節感を感じられるように玄関花壇の管理・屋外バルコニーの管理
- ・天災後の施設物品の故障箇所等の点検、報告
- ・新型コロナウイルス等の感染予防の対策の周知(消毒や予防策)

## [ リスクマネジメント ]

日常生活において危険(職員がヒヤリしたりハツとしたり)に遭遇した際、ヒヤリハット報告書を提出してもらい、対応策を検討することで大きな事故を未然に防いでいくように努めた。また結果を集計し、発生しやすい時間・場所・利用者等の特定をすることで、ハイリスク者として出来る限りの対応を行った。転倒転落が多いが、重度の骨粗鬆症の利用者もいるので油断しないように周辺環境の整備を行いながら見守りの強化に努めた。表皮剥離も多く、後発部位の保護や介助方法の検討にも努めた。職員への意識改革を行い、ヒヤリハットの事項を各部署で回覧等を行い、多くの職員に伝達するよう努めた。今年度は報告が必要な事故が4件発生し、転倒による創傷、骨折が2件、脱臼で報告した。予測できるリスクにおいては対策会議を行い、必要な研修会を開催し再発防止に努めた。今後も認知症高齢者の増加や予期せぬ事態も考えられるため、令和5年度福岡県介護ロボット補助金によりセンサー付きベッドを16台を導入し、早期の行動が分かるように常時見守りができにくい時間帯はセンサーマット、赤外線センサーを併用し安全対策を行う。また、搜索マニュアルも制定し、行方不明事故などにも対応できるように認知症ケアの更なる強化を図った。

(ヒヤリハット報告書提出件数 令和5年度:157件 比較 令和4年度:162件)  
(事故報告書件数 令和5年度:4件 比較 令和4年度:0件)

## [ 安全対策 ]

予測のできない天災(大雨や地震等)にも目を向け、定期的に防災訓練・緊急通報訓練(防災訓練については別紙防災担当係実施報告書による)を行い、職員はもちろんのこと利用者の方々も一緒になって緊急時の対応を周知し、昼夜に限らず利用者が安心して日常生活を送っているよう万全の体制を備えるよう努め、安全管理については最善を尽くした。施設において最新の防災設備の使用方法を習得しておくと共に、施設設備や器材の点検を防災担当係及び環境整備専門委員会が中心となり随時行っている。今後は地域住民をふまえた防災訓練の実施が義務化されておりますので、行政機関と連携を図りながら対応していく必要があり、また備蓄の有効活用も検討していく。

〔 苦 情 処 理 〕

施設宛に送られた今年度苦情受付件数は0件。

苦情はありませんでしたが、特にコロナ禍の面会制限等があり、閉鎖的な印象を受けやすい為、ご家族とのコミュニケーションを密に図り、利用者の状態報告を行ないながらご家族とも信頼関係を築くように努めた。行政機関等の苦情窓口も紹介しており、全職員が一丸となって、苦情を真摯に対応していくことでサービスの向上に努める。

〔 生 活 部 門 〕

行事計画に基づき、次の通り実施しました。

月	行 事	実 施 状 況	参加数
4	創立記念祭	29日、創立45周年記念式典、役員等の来賓をお呼びし、入所者と職員のみで実施。	65名
	誕生日会	29日、該当者4名	65名
	移動美容室	26日、移動美容室トミーズスター	16名
	聞法会	27日、賢明寺	30名
	散髪	24日、おしゃれ床屋いのうえ	25名
	ポーラ化粧品の日	15日、ポーラ化粧品美来	10名
5	桜花見バスハイク	2日、9日、中津方面	12名
	誕生日会	24日、該当者1名	50名
	黒土神幸祭	3日、	11名
	ポーラ化粧品の日	27日、	10名
	ふるさと訪問ツアー	13日、14日、17日、27日、28日、豊前・吉富	15名
	誕生日会	14日、該当者4名 カラオケ教室職員による	50名
6	聞法会	22日、教円寺	35名
	移動美容室	7日	17名
	ふるさと訪問・アジサイバスハイク	4日、11日、14日、17日、18日、枝川内	15名
	散髪	5日、	49名
	ポーラ化粧品の日	17日、	10名
	園内シヨッペンゲン	25日、地域交流室にて豊福商事来園	30名
7	ポーラ化粧品の日	22日、	10名
	七夕カラオケ大会	7日、デイスービス利用者と合同カラオケ大会	50名
	誕生日会	7日、該当者8名 カラオケ大会	50名
	散髪	31日、	25名
	ふるさと訪問	16日、豊前	3名
	物故者法要	3日、物故者の初盆会を行う。(外部参加なし)	60名
8	誕生日会	26日、該当者6名 夏祭り兼ねる担当職員より	60名
	お盆特別喫茶	12日	45名
	移動美容室	2日、	18名
	散髪	7日、	33名
	利用者レントゲン	28日、29日、31日	80名
	敬老の日祝賀会	16日、役員を来賓としお呼びし、入所者と職員のみで実施	65名
9	誕生日会	16日、該当者8名	65名
	散髪	4日、	21名
	移動美容室	13日	20名

10	誕生日会 閉法会 ポーラ化粧の日 室内運動会 コスモスバスハイク	15日、該当者12名 カラオケ教室 26日、円光寺 21日、 14日、地域交流室にて 15日、18日、21日、22日、三光コスモス園	60名 50名 10名 55名 25名
11	誕生日会 散髪 ポーラ化粧の日 園内ショッピング 菊花展バスハイク そば打ち見物 紅葉バスハイク	12日、該当者5名 1日、10日 25日、 19日、地域交流室にて豊福商事来園 8日、薦神社 16日、施設長・居宅ケアマネによる 29日、耶馬溪方面	60名 57名 10名 29名 6名 35名 6名
12	散髪 クリスマス会(忘年会) 誕生日会 餅つき(正月準備) 移動美容室 ポーラ化粧の日	11日、12日 23日、誕生日会と兼ねる 23日、該当者7名 27日、地域交流室で餅を食べる 20日、 17日、	66名 60名 50名 50名 17名 10名
1	正月祝い 書き初め ポーラ化粧の日 かるた・福笑い大会 初詣 誕生日会	1日、2日、3日、おせち料理 13日、硬筆クラブ員ほか 20日 1日、 9日、14日、(石清水八幡宮、嘯吹八幡宮、中津大神宮) 24日、該当者15名	80名 40名 10名 40名 20名 50名
2	節分室内ゲーム大会 散髪 移動美容室 誕生日会 閉法会	3日、地域交流室にてゲーム大会 26日、27日、 28日、 3日、該当者7名 23日、浄福寺	50名 58名 20名 60名 50名
3	誕生日会 ひなまつりお楽しみ会 松本アキ子氏満100歳祝い 上田喜代子氏満102歳祝い 桜茶会 河津桜花見バスハイク	2日、該当者12名 2日、 6日、3Fフロアにて 30日、2Fフロアにて 23日、地域交流室にて 8日、松江	60名 60名 45名 45名 20名 6名

全体での行事計画に関しては担当者を決め、会議を開いた後、行実設計画書を作成し、各部署に配布するように徹底した。新型コロナウイルスの流行により例年実施している行事は規模を縮小したりしながら、季節感を与えられるよう、そしてできるだけ新しい内容を試み、利用者の表情等の観察を密にすることで次年度につなげるよう努めた。100歳以上の利用者は本人の誕生日にみんなでお祝いを実施した。3密になる状態を作らないためにも、天候と体調により芝生グラウンドや近隣地域へ車椅子で少人数の散歩も試みた。

おしゃれをして、いつまでも美しく笑っていただきたい為、感染対策を行いながら、理容美容だけでなく積極的にボランテアを受け入れ、ポーラ化粧品美来より月1回は化粧をし、笑顔の写真を残した。

この他に毎月恒例の法要の日(25日)、隔週土曜日の喫茶の日やカラオケ教室、音楽リハビリは感染状況を把握しながら実施し、毎月行われるお誕生日会でも外部も舞踊団等の来園が出来ないため、担当職員が中心となり、職員と入所者でお誕生日会を開催した。クラブ活動においては音楽クラブ、吟

詠クラブ、音楽リハビリ、書写クラブを各クラブ担当者により月1回実施(別紙クラブ活動実施報告書参照。)

## 「職員施設外研修」

参加者	研修月日	場所	研修内容
施設長	R5. 6. 19	福岡市	県老施協総会
	R5. 6. 20	東京都	全老施協総会
	R5. 6. 22	飯塚市	筑豊地区老施協総会
	R5. 10. 19~R5. 10. 20	福岡市	九州老人福祉施設職員研究大会
	R6. 2. 15~R6. 2. 16	熊本市	九社連施設長研修会
看護職員	R5. 12. 7	築上町	京築施設協議会「多職種連携について」
介護職員	R5.9. 29	築上町	京築施設協議会「新人育成について」
	R5.9. 29	築上町	京築施設協議会「新人育成について」
	R5. 12. 7	築上町	京築施設協議会「多職種連携について」
	R5. 12. 7	築上町	京築施設協議会「多職種連携について」
	R6. 3. 7	飯塚市	筑豊地区主催研修会
事務	R5. 4. 26	行橋市	入浴設備における衛生管理等講習会

今年度より徐々に外部研修が感染対策を行いながら開催されるようになりました。新型コロナウイルス対策として多くの企業が動画配信や WEB セミナー等を開催している為、新しい機会を得る良いチャンスであるため、積極的に施設内研修として、多くの職員に参加を促すようにした。

## 「職員施設内研修」

令和5年度の施設内研修としては、12回実施。

- ・5月11日 感染症対策研修会「5類移行でどうなる？」地域交流室にて WEB セミナーおよびグループ討議
- ・5月18日 虐待防止研修「高齢者虐待防止について」地域交流室にて全老施協 WEB セミナー
- ・6月22日 褥瘡対策研修「もう一度学ぶ褥瘡ケア」地域交流室にてアルケア WEB セミナー
- ・7月19日 「ウン知育教室」大会議室にてヤクルト講師による講演
- ・8月21日 身体拘束研修「身体拘束ゼロ作戦～やってみる～」地域交流室にて WEB セミナーおよびグループ討議
- ・8月30日 「健腸長寿」大会議室にてヤクルト講師による講演
- ・11月22日 感染症対策研修会「振興感染症発生時を想定した実地訓練について」地域交流室にて WEB セミナー
- ・11月27日 身体拘束研修「スピーチロックについて」地域交流室にて WEB セミナー
- ・1月31日 ターミナルケア勉強会「穏やかな最期を迎えるために」認知症の人と家族の会 WEB セミナー
- ・2月28日 虐待防止研修「虐待防止プログラムによる事例検討」地域交流室にてグループ討議
- ・3月21日 感染症対策研修会「3F での感染症対策の振り返り」3F スタッフによる意見交換会
- ・3月26日 移動移乗ケア・排泄ケアの介護実技研修会地域交流室にて各専門委員による実技講習

- 主任・ケア会議 12回 毎月20日頃実施。

- 給食会議 12回 毎月25日頃実施。
  - 入所検討委員会 2回 (4月21日、10月13日)
  - リスクマネージメント委員会 2回 (4月7日、10月27日)
  - 身体拘束廃止委員会 4回 (5月18日、8月21日、11月27日、)
  - 褥瘡委員会 2回 (6月21日、10月26日)
  - 物故者法要・夏祭り実行委員会 0回 (規模縮小の為主任会議にて)
  - きぼうの里秋のつどい実行委員会 0回 (規模縮小の為主任会議にて)
- ※この他に行事前に行事関係会議を都度開催しました。

## 「実習生の受け入れ」(団体別)

施設を開放し、下記の通り地域中学生の体験学習を幅広く受け入れ、福祉に対する関心を持っていただくことで地域福祉の向上に努めた。新型コロナウイルス感染症対策として体験学習事業の全ては中止。また、教員免許所得の為に介護等体験における大学生は2件。

- ・梅光学院大学 2年 池本浩都 令和5年8月7日(月)～8月11日(金) 5日間
- ・梅光学院大学 2年 高橋玲奈 令和5年8月21日(月)～8月28日(月) うち5日間

## [特別養護老人ホーム実施状況]

定員80名における居室利用率 98.00% (前年度96.50%)

延べ利用実績

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無保険	利用合計
4月	0	90	500	1050	672	26	2338
5月	31	62	528	1102	640	3	2366
6月	29	60	567	1064	557	41	2318
7月	24	62	536	1105	634	43	2404
8月	31	62	583	1121	637	31	2465
9月	30	60	540	1036	619	30	2315
10月	31	62	558	1139	639	31	2460
11月	30	66	507	1094	613	30	2340
12月	31	62	558	1095	695	31	2472
1月	31	62	558	1085	708	31	2475
2月	29	58	551	1049	602	29	2318
3月	31	62	589	1091	620	31	2424
小計	328	768	6575	13031	7636	357	28695

※入院・外泊加算 166日/年、初期加算 583日/年、療養食加算 7098食/年、

※看取り介護加算(1) 106日/年、看取り介護加算(2) 225日/年

看取り介護加算(3) 18日/年、看取り介護加算(4) 9日/年

※配置医師緊急時対応加算(早朝・夜間) 3回/年、配置医師緊急時対応加算(深夜) 0回/年

※口腔衛生管理加算(I・II) 934日/年、

※食費 27847日/年、居住費 28499日/年

※安全対策体制加算 19日/年、個別機能訓練加算(1) 27906日/年

※個別機能訓練加算(2) 934日/年

入退所状況

入所者80名(特例入所0名含む)

保険者	入所人数	保険者	退所人数
豊前市	13	豊前市	15
吉富町	1	中津市	3
築上町	1	上毛町	1
中津市	4	吉富町	1
計	19	計	20

退所理由	人数	前年度人数
ホームにて死亡	12	14
入院先医療機関で死亡	3	1
入院中回復の見込みがない為退所	5	4
病状が安定し、在宅復帰が可能であった為退所	0	0
他の施設等への転院・転所	0	0

保険者別状況 (人) 令和6年6月1日時点

豊前市	中津市	上毛町	築上町	吉富町	北九州市	豊後高田市
64	6	1	1	4	2	1

・男性20名 女性59名

年齢別状況 (人) (比較:令和5年6月1日 平均年齢 86.9歳(男性82.2歳 女性88.2歳)

100歳以上	90歳~99歳	80歳~89歳	79歳~70歳	69歳~60歳	60歳未満
3	35	26	15	0	0

・平均年齢 87.2歳(男性83.3歳 女性88.5歳)

介護度別状況 (人) (比較:令和5年6月1日 平均要介護度 3.90

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1	3	19	38	18

・平均要介護度 3.87

入所待機者状況 (人) 28名(内特例入所待機予定者2名) 令和6年4月1日現在

(比較:令和5年4月1日現在24名 内特例入所待機予定者2名)

豊前市	中津市	上毛町	吉富町	太宰府市	
20	0	5	2	1	
申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2	1	1	8	7	11

・待機者平均介護度 4.0 (比較:令和4年4月1日 3.8)



## [ 併設短期入所生活介護(介護予防) ]

定員10名 従来型個室

短期入所生活介護事業所では可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援する事と、その家族の負担を軽減させることを最大の目的としている。新型コロナウイルス感染症対策として利用時の体調確認及び抗原検査を徹底して実施。地域の感染状況の把握に努め、受け入れを制限することもあったが、徐々に通常の短期入所の利用ができるように対応した。新規利用者の居宅介護支援事業所との連携において少しでも在宅で過ごされることを推進した。その為、確実に施設と在宅とのつなぎを行うため、今まで以上に家族と施設の連携を深めるよう努めた。定期的な利用に繋げるための関係づくりに努めた。

### 実施状況

	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	利用合 計
4月	0	0	0	79	34	65	33	0	211
5月	0	5	12	80	31	47	60	0	235
6月	0	0	0	51	19	30	62	3	165
7月	0	0	0	49	31	36	95	3	214
8月	0	0	0	16	82	28	93	6	225
9月	0	0	6	3	72	45	58	10	194
10月	0	0	3	29	83	44	31	10	200
11月	0	0	3	29	90	51	30	10	213
12月	0	0	0	21	82	73	31	10	217
1月	0	0	0	12	79	96	30	4	221
2月	0	0	2	9	69	67	0	9	156
3月	0	0	0	31	77	80	0	4	192
小計	0	5	26	409	749	662	523	69	2443

送迎回数 ( 比較:令和3年度 計264回 1ヶ月の平均送迎回数 22回 )

4月	5月	6月	7月	8月	9月
38	43	42	46	44	34
10月	11月	12月	1月	2月	3月
48	50	47	34	20	47
合計 493回 1ヶ月の平均送迎回数 41.1回					

令和5年度

専門委員会  
クラブ活動

- ・入浴専門委員会
- ・食事専門委員会
- ・排泄専門委員会
- ・移動移乗専門委員会
- ・環境整備専門委員会

実施報告書

- ・手芸クラブ
- ・音楽クラブ
- ・書写クラブ
- ・詩吟クラブ
- ・カラオケクラブ
- ・喫茶クラブ
- ・リハビリ係
- ・防災担当
- ・広報編集担当
- ・間法会担当

亀保の里

令和 5 年度

# 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
入浴専門委員会								

担当者名

近藤拓也 尾形正和 仲千秋 アンドレス・ローズ・マリ- 牧野美佐子

北山照美 森田ヒカリ なつみマチイ 太田ひとみ

## 活動状況

- ・週4回の入浴実習。(月・木…個浴、17浴、火・金…特殊浴) 行事等の兼ね合いで感染症蔓延防止のため入浴日を変更することになった。
- ・入浴分那に死したる職員の手洗いや入浴係員外交代で作成
- ・入浴時の転倒や表裏距離等の事故対策などより声かけ合、注意しながら行うようになった。令和5年度は入浴でのヒヤヒヤは11件。
- ・入浴開始前にはNSと相談し、体調不良等の理由による入浴中止者を確認する。中止者は清拭・更衣を実施した。
- ・入浴中の利用者の見守り・観察、声かけをして、体調の確認を行い、浴室内一時滞在すること、入浴時間にも気を付けながら安心安全に浸り、いただいたお礼も行った。
- ・利用者の状態に応じて入浴方法をより再度検討、変更すること、適切な入浴外で過ごすように努めた。
- ・入浴機器の故障、不具合の件も行った。不具合がわからず報告した。令和5年11月…2F特殊浴、臭音シリンダ部の部品もれ、1/2の修理  
令和6年3月…2F特殊浴、右側スリッパ一高工直付けされた。令和6年5月頃新しいものに変わ予定。
- ・その他にも問題点削減等は「その者度入浴委員や主任等」話し合い、検討した。

# 令和 5 年度 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
食事専門委員会								

担当者名

尾家みゆき 濱砂智子 田簞律子 松本真弓  
 二宮サトミ 長野雅代 羽野美紀

## 活動状況

- ・月一回の給食会議を行い、各部署の意見や利用者の状況・状態を（食事があまり摂れていない利用者等について）話し合い、栄養士や給食会社と連携し利用者一人一人が喜んで食事をしていただいているように努めた。（補助食品の検討等）5月よりアジアターニング会社に変更。
- ・利用者の体調、口腔内や義歯の調子に合わせ、状況に合った食事形態に変更し提供した。
- ・体調に応じた食事摂取、水分補給を促すとともに嚥下困難な利用者に対し、適量のトロミ作りを使用し安全に摂取できるように努めた。
- ・歯科衛生士による指導、連携を図る事で口腔内の清潔保持に努め、そのために必要な物品の準備、検討を利用者の状態に合わせて行った。
- ・糖尿病の方や塩分等の制限が必要な利用者に対してはNSや栄養士と連携を図り、状態の変化・悪化の予防に努めた。

令和 5 年度

## 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
排泄専門委員会									

担当者名

生田義文 宮崎昌美 真浄友輝 あけみキンバリー  
田中さゆり 竹下陽二郎 札本由実 川本みどり

### 活動状況

- 勉強会の開催
  - 7月、ユニチャームと連携し、排泄ケアの知識、技術向上を図る。  
入所者にあったパッドの選び方、一日のパッド交換の回数の把握。
  - 3/26に施設内研修を開催する。  
＜研修内容＞ 27名参加  
男性器のパッドの当て方について  
便失禁のオムツ交換
- 入所者個人の排泄パターンを把握し、入所者にあった介助が行われているか、随時検討、改善した。
  - 失禁が多い入所者に対してはその人にあった、パッド、オムツ回数を検討し、少しでも不快感がなくなるように検討した。
- オムツ着用者がオムツを外すかについては、その入所者のADL、怪我のリスク等、踏まえ外せるか慎重に検討した。
- 排泄状態、排泄物を観察し、医療と連携を図り、排泄障害への適切な対応へ繋げてゆく。
  - 特にサラサラパッド使用した際、陰部がかぶれた入所者が目立ち、サラサラパッドを使用せず、大きいパッドを使用し、オムツ回数を増やすことで改善した。
- オムツ交換、排泄解除後の換気の徹底、清潔と不潔の区別の徹底を行う。
  - オムツ交換の際、着用した手袋は一人ひとり交換、または消毒し、尿路感染防止に繋げるよう努めた。

令和 5 年度

# 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
移動移乗専門委員会								

担当者名

宮川裕美 宇野賢治 古川陽大 志賀富久美  
沖山俊 川本里美 高田恭士 松本須磨子

## 活動状況

。全職員を対象とした石開修を行い、移動、移乗の技術習得を行った。(令和6年3月26日)  
ベッド上での上、下方向移動

。身体拘束の3月に1回の石開修への参加、身体拘束が行われている、利用者の適正化の見直し。

- ・身体拘束者の現状についての報告。
- ・適正化に関する検討及びビデオセッション
- ・日次画像資料を使用した石開修

。車椅子、ベッド等の整備、利用者に応じた物品の見直し。

令和 5 年度 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
環境整備専門委員会	田村富士美	松崎優子	岸本ひとみ	古見貴子	田村富士美	松崎優子	岸本ひとみ	久末英明

担当者名

古見貴子 田村富士美 松崎優子 岸本ひとみ  
久末英明 井上翔平 ゆきこナネット 木村淑美

活動状況

- 。施設内の設備(ベッドや車イス、トイレ等)異常があれば、事務所に報告した。
- 。特殊浴槽のバッテリーやストレッチャの故障があった為、事務所へ報告した。リフトの故障も同様に行う。
- 。エアコンや換気口のフィルターの清掃も定期的に行った。
- 。ベランダや窓ガラスに土ぼこりがたまるので、都度、水も流し、キレイに清掃を行う。
- 。ベッド周りや車イスやコンセント周りのほこりや汚れをキレイに清掃した。
- 。施設の掲示版や壁面は、手拭クランプ等と協力して季節の飾りや絵を貼った。
- 。感染症の予防対策で、手すりやドアノブ等、人が触る所の消毒を行う。
- 。新しいベッドが来たので、古いベッドと入れかえて、古いベッドは4Fの倉庫に置く。
- 。入所者の病院受診の際、使用したリクライニング車イスのタイヤの空気が抜けていたと病院より苦情ある。  
よ以後は出発前の確認を必ず行う。

# 令和 5 年度 クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指選員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
手芸クラブ								

担当者名

川本里美 古見貴子 札本由美 岸本ひとみ  
 濱砂智子 二宮サトミ 黒岩美栄子 松本真弓

## 活動状況

- 4/22 (2) (32名) ニハのぼり / ぬり絵  
 画用紙でニハのぼり製作し折り紙でうさぎを作りました。
- 5/20 (2) (16名) 傘のつくり飾り / ぬり絵  
 画用紙、折り紙を傘のパーツ製作しパーツを組み合わせて
- 6/28 (2) (35名) セタ飾り。  
 おり紙にシマエツツクリ、短冊に鳳凰の草紙を
- 7/22 (2) (18名) 朝顔の壁飾り / ぬり絵  
 120cmで朝顔の花と葉を切り取り、竹垣の背景に貼る
- 8月～10月 3ヶ月間  
 行事・入浴日、コラフ等に2斗止。
- 11/29 (2) (22名) クリスマス飾り / ぬり絵  
 トマトパピーの芯と使用し星形のパーツを作る
- 12/30 (2) (20名) ぬり絵 1月のカレンダー  
 カレンダー製作し、巻の絵を貼る。
- R5/27 (2) (29名) 折り紙で梅の花とうさぎ作り  
 丸く切った紙と重畳紙でうさぎの梅の花を作る
- 7/28 (2) (22名) おひさま / ぬり絵 / セタ飾り飾り。  
 おひさまの服とすまねおひさまと使われ見えます。
- 3/27 (2) (17名) 春のつくり飾り / ぬり絵。  
 7-20に花、葉、こいのぼりを作ります。



令和 5 年度

# クラブ活動実施報告書

クラブ名

## 音楽クラブ

施設長



指導員



事務長



相談員



看護総括



看護主任



介護総括



介護総括



記入者



担当者名

宮崎昌美

宮川裕美

北山照美

ゆきこネット

真淨友輝

田笹律子

友枝悦子

宮崎茉理

### 活動状況

- ・昔の小懐かしい歌や季節の歌も選曲して、入所者のためにその当日の事を思い出して頂けるように、楽しい、雰囲気作りに努める親しみを持ってもらえた。

- ・季節の歌や亀保の里の歌、昔懐かしい歌も歌った。

- ・ピアノの伴奏に合わせて(クインビー、カスターネット、鈴等の楽器も使いリズムよく演奏出来ていた。

- ・リズム体操ではふるさとサンバの曲に合わせてバチも使う踊り、誕生日会で踊る事が出来た。

- ・宮崎 茉理さんに参加の有無を確認し、事前にセア伴奏の楽曲も依頼している。

- ・4月は参加者も多くとても見栄やかで、歌詞穴うめワイス(どこかで春が)も出し、ヒトもおぼしげがら格入ることが出来た。



令和 5 年度

# 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
吟詠クラブ										

担当者名

竹下陽二郎

宇野賢治

札本由美

野原千津子

太農達也

仲千秋

大島末子

## 活動状況

- ① 昔ながらの詩や歌に触れることで、癒しの効果があり自然と笑顔が見られた。又、参加された入所者が楽しいひと時を過ごして頂けるよう実施した。
- ② 発声により筋力・嚥下機能の向上に繋げ食事をおいしく食べて頂けるよう工夫をする。声を大きく出せない方も、口元がしっかりと動くようになってきた。
- ③ 感染予防でマスク着用しての参加であり、スムーズに声を出しにくい面もあったので今後、検討していきたい。

クラブ参加者20～30名

- 詩道五則 ゆっくりはっきりとした声を出してもらおう
- 発声練習 腹式呼吸により腹筋を鍛え発語を促す
- 合吟 「富士山」「名槍日本号 民謡黒田節」など（CDを伴奏に使用）  
童謡・民謡の馴染みのある部分では大きな声を出し歌われていた。  
声の出しにくい方も職員と一緒に声を出す姿が見られた。
- 尋亀保里 施設の情景を漢詩にしており、声が出るようになってきた。
- CD鑑賞 白虎隊
- リハビリ体操 職員に合わせ深呼吸、首の体操、肩の体操、口の体操、顔の体操  
を意欲的にされる入所者の姿が見受けられる。
- 創立記念式典、敬老祝賀会、など行事の際には会場の皆様と一緒に合吟を行い楽しんでいました。「富士山」の合吟では沢山の方が声を出してくれていたのが印象的であった。

# 令和5年度 クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
カラオケクラブ	留	登	長	電	榮	高	上	禾

担当者名

久末英明 古川陽大 松崎優子 末次恵子

長野雅代 森田ヒカリ アンドレスローズマリー

## 活動状況

令和5年度の年間行事

- 4月、カラオケ教室 4/12、創立記念 4/29 の演芸の練習、
- 5月、カラオケ教室 5/10
- 6月、誕生日会とカラオケ教室を合体して行う 6/4、カラオケ教室 6/24
- 7月、七夕カラオケ大会 7/7、カラオケ教室 7/19
- 8月、カラオケ教室 8/4、誕生日会と夏祭りも合体して行う。8/26
- 9月、カラオケ教室 9/6、敬老の日 9/16 の演芸の練習、
- 10月、誕生日会とカラオケ教室を合体して行う。10/11
- 11月、誕生日会とカラオケ教室を合体して行う。11/15、
- 12月、カラオケ教室 12/13、クリスマス会の演芸の練習 12/23
- 1月、カラオケ教室 1/10、誕生日会(歌の初め) 1/24

2月 中止

3月 ひな祭りお楽しみ会 3/2、カラオケ教室 3/13

・カラオケ教室は月1回～2回、午前10時～午前11時15分に末次先生の指導により実施し、職員は歌詞カードを配ったり、マイクを持って行って歌ってもらったり、先生の補助をする。

・誕生日会や行事の時は、カラオケクラブとして、歌う利用者の歌の練習をしたり、行事の時にスムーズに進行するように手伝いをする。

令和 5 年度

# クラブ活動実施報告書

クラブ名 喫茶クラブ	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
								

担当者名

二宮サトミ 宮崎昌美 森田ヒカリ なつみダイア 田簞律子 白川志津子  
 田村富士美 長野雅代 ゆきこナネット あけみキハバリー アンドレス・ローズマリー 木村淑美

## 活動状況

月に2回 土曜日は喫茶の日とする。

14:00～15:30 実施

メニュー メインのお菓子は、フォリン、ヨーグルト

飲み物

コーヒー、紅茶、こぶ茶、ジュースの中から選んでもらう。

メインは、季節感のある物、糖尿病の方には低糖と  
 ノンカロリージュガーの用意。

飲み込みの悪い人にはゼリー類、トロミ剤を使用。

コロナウイルス感染予防のため各階 時間をおらし実施  
 机の配置も間隔をあける等 密に注意し実施。

・名前を呼び 注文を聞く、食べ終わると感想を  
 聞くなど 短い時間のコミュニケーションも楽しめ  
 音楽を流す事でリラックスした雰囲気も楽しめた。

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
リハビリ係	留	豊	豊	負	X	塚	博	上村	津

担当者名

◎沖山 俊 ○田中さゆり ☆太農達也・宮崎勇人・上村千春・尾家みゆき  
尾形正和・古川陽大・高田恭士・井上翔平・羽野美紀・志賀富久美・上田京子

## 活動状況

♪音楽リハビリ（月一回）10:15～11:00 戸祭先生

・先生の指導のもと音楽を聴きながら、先生を手本に職員が利用者を介助しながら、身体を動かしたり、可動域訓練を行います。（鳴子・鈴・ボール・タオル等を使用）  
・入所者の介護度も上がり一人で動ける人が少なくなり、入所者から「しんどい、キツイ」との声が出てきたので、運動の内容を先生と相談してゆっくりな動きに変更しました。

関節可動域訓練（月4回） 柔道整復師 太農氏

・少し動ける人対象・・・歩行訓練・起立訓練・立位訓練等（現在10名）  
動きの改善は少しは見られているが維持にはつなげられていると思われまます。

個別リハビリ（月2回）水曜日14:00～16:30 柔道整復師 太農氏

・寝たきりの人を対象にマツサージをしながら可動域を広げる。（現在12～14名）  
6/1～開始になり実施中は発語が聞かれたり、表情に変化が見られております。

ラジオ体操（毎週水曜日・日曜日）14:30～14:45

・ラジオ体操は関節可動域訓練を兼ねており機能維持に繋がっています。  
・各部署リハビリ係の担当職員及びその日、出勤職員に対応してもらいます。  
・始まり、終了の放送は入所者に協力してもらい、良い発声練習にも繋がっているので、今後も続けていきたいと思えます。

・来賓・家族参加型レクレーション（4月29日・9月16日）

創立記念祭（レッツ巻き巻き選手権）

・今回は来賓者・職員とで競い合い来賓者の方の勝利でした。  
・内容は会場の後ろの人がトイレットペーパーを持っていて、それをステージの上にいる人が巻き取る方法でした。反省点として、トイレットペーパーが長く、時間がかかった事、内容がわかりやすかったことがあげられました。

敬老祝賀会（ジェスチャーゲーム）

・来賓と職員がボードに書かれた事に対し、ジェスチャーを行いそれを当てるゲームです。  
・答えが解った人は直ぐに手を上げ、なかなか分からず上げるのが遅くなっていた人もいましたが、全体に答えてもらう様になりました。その中で大きな笑いが出たり、拍手を沢山してもらったりと皆さんにいっぱい応援してもらいました。

黒土小学校との合同運動会（中止）

・感染予防対策のため中止となり、各部署でそれぞれ考えたゲームを行いました。  
・日頃使わない筋肉を使い、ストレス発散になるようなゲームを行うことで皆さんの笑顔が沢山見られ、身体を動かすことで大きな声が聞かれました。入所者だけでなく職員も楽しんでいたように思われました。

カルタ・福笑い（R6.1月1日）

・各部署で担当職員が行いました。利用者も昔を思い出した様で、笑顔が見られていました。

節分豆まき大会（R6.2月3日）

・コロナウイルス感染予防対策にて3Fのみで、豆まき、風船割り、ジェスチャーゲーム等をを行いました。年男・年女の人も多かったけど、外に投げる人は人数制限して、職員と一緒に3Fのベランダから投げました。

# クラブ活動実施報告書

令和 5 年度

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
防災担当									

担当者名

眞鍋宏一郎 新浄友輝 井上翔平 塚本豊 佐々木みどり  
 宇野賢治 近藤拓也 森重広子 牧野美佐子

## 活動状況

○総括  
 令和5年5月に2類から5類へと変更され、施設内外の行動制限が徐々に緩和されてきたが、引き続き新型コロナの感染予防に努めながらの防災活動となった。9月・10月・12月・2月は施設内での新型コロナ発生等により訓練中止を余儀なくされたが、日中・夜間を想定した避難訓練を中心に防災訓練・防災研修を行うことができた。

令和5年度は前年度と同様に、非常時にスタッフ個々が状況や自分の役割を的確に判断できるようにすること、およびスタッフ間の連携がスムーズにはかれるようになることを主な訓練目標とした。

特に各フロアでの火災を想定した訓練を重点的にに行い、実施した訓練の反省点を次回以降の訓練計画に反映させることを意識したことと段階的にスタッフの認識・理解が高まり、訓練の質を向上させることができていると思われる。また、実際の勤務状況(夜勤状況)等を加味した上での訓練を行うことで、介護職員主導で訓練の内容および実施方法を決定・担当することができ防災意識の向上を感じた。

令和6年度は同日標のもと計画的に防災訓練を実施していくとともに、京築消防本部立ち合いによる防災訓練の実施を行う。

実施内容

- 4月23日 夜間2階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 5月28日 火災報知器作動時の対応についての指導・訓練
- 6月11日 台風・水害時による停電を想定した発電機の使用訓練
- 7月5日 排気ダクト・屋内散水栓の起動・操作訓練
- 8月 職員にコロナ感染が相次いだ為中止
- 9月～10月 入所者・職員にコロナ感染あり中止
- 11月11日 夜間3階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 12月 入所者・職員に体調不良者多数あり実施せず
- 1月17日 消防署への通報訓練
- 2月 入所者・職員にコロナ感染あり中止
- 3月29日 消防署立ち合いのもと夜間の火災発生を想定した行動手順の確認

7月5日

昨年同様、九州保安協会 の指導の下、排気ダクトの稼働状況の確認を実施した。非常時に適切に使用できるよう稼働ボタンの位置確認やボタンを押しした後の稼働状況、稼働後の停止までの一連の流れを体験した。また、屋内散水栓の放水体験も実施し、ホースを使用した際に感じる実際の水圧等を体験した。今後も排煙装置等の防災設備を定期的に稼働させ、火災発生時には全ての職員が適切に行動できるよう研修を重ねていく。

3月29日

夜間の火災発生～消防署到着までの間、施設内での職員の対応の対応について消防署員を交えて確認を行った。折り返し電話の対応不要、消防署突入口の解錠等、限られた人員で行う対応について施設・消防署が相互に確認を行った。

今後も定期的な訓練・研修や防災担当者会議等を通じて、施設の防災対策を徹底していくとともに、スタッフの防災意識向上に一層努めていきたいと思う。

# 令和 5 年度 クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
	田中	野	長	員	長	部	部	部

## 広報編集担当

担当者名

宮崎昌宗 矢鳴淳成 高田恭士 川本みどり 宇都宮生雄  
 生田義文 田村富士美 上田京子 古見淳 前田武雄

## 活動状況

令和5年度の広報編集委員の活動においてはコロナ対策として4ページの構成に変更しています。

あかり145号（令和5年6月15日発行）500部

- 1, 季節のページ(紫陽花の喫茶)、雑感
- 2, 家族投稿(吉田ちか子さん次女)、ほのぼのコーナー(お誕生日、レクリエーション、日常)
- 3, 行事報告(2～5月)、新入所者の紹介、
- 4, デイサービス日より、御礼コーナー、新人スタッフ紹介、編集後記

あかり146号（令和5年10月20日発行）600部

- 1, 季節のページ(園外散歩)、雑感
- 2, 健康教室(タイラ歯科医院院長平良祥)、ほのぼのコーナー(日々の生活)、新入所者の紹介
- 3, 行事報告(6月～9月)
- 4, デイサービス日より、御礼コーナー、編集後記

あかり147号（令和6年2月14日発行）500部

- 1, 季節のページ(書き初め)、雑感
- 2, ほのぼのコーナー(戻ってきた日常)
- 3, 行事報告(10月～1月)、新入所者の紹介、義援金紹介
- 4, デイサービス日より、御礼コーナー、編集後記

上記3号を発刊しました。編集活動においては一か月前に編集会議を行いました。担当者が各ページを作成し、全体的な構成を毎回担当者を決め、出来るだけ同じような内容にならないよう配慮を行いました。もつと掲載の内容の濃いものにし、行事報告だけでなく、入所者の表情をもつと取り上げていきたい。面会が十分にできないご家族の為に請求書発送時にあかり号も同封するようにした。

ホームページにおいては季節ごとの行事の報告やお知らせは随時更新するようにしています。広報誌「あかり」も多くの方に見ていたようにホームページにデジタル版を掲載しています。ホームページは令和6年3月23日時点で24084回閲覧数を突破しております。閲覧数も徐々に増え、入所者の御家族もお知らせ等も確認していただけではないです。また、入所者の御家族だけでなく、入所を検討している御家族にもコロナ禍により施設内の見学ができないため、ホームページ内に居室や設備の様子を分かりやすく掲載し、「閉鎖的にならない、選んでもらえる施設」を目指していく。



クラブ名 聞法会担当	施設長 	指導員 	事務長 	相談員 	看護総括 	看護主任 	介護総括 	介護総括 	記入者 
---------------	--	---	--	--	---	---	---	---	--

担当者名

尾家慶彦 松崎優子 石橋悦子 太田ひとみ  
尾形正和 仲千秋 野畑真由美 矢鳴淳成

## 活動状況

令和4年度は計画通り4回の聞法会を実施しました。

### 1. 令和5年4月27日(木曜日)

賢明寺住職

法話内容 花まつりについて、上品・中品・下品について  
参加者 特養47名 デイ2名 職員14名

### 2. 令和5年6月22日(木曜日)

教園寺住職

法話内容 阿弥陀様について  
参加者 特養40名 デイ1名 職員9名

### 3. 令和5年10月26日(木曜日)

円光寺住職

法話内容 歎異抄について  
参加者 特養45名 デイ1名 職員8名

### 4. 令和6年2月22日(木曜日)

浄福寺住職

法話内容 阿弥陀様の教えと親について  
参加者 特養45名 デイ1名 職員8名

コロナの為読経の際は極力マスクを着用しつつ、利用者・職員にお経本を配り、ご住職と一緒に読経しました。それぞれページをめくりつつ、発声し身体の活性化につながりました。また馴染みのお寺さんとの交流でき喜ばれていました。

# 令和5年度

## デイサービスセンター 亀保の里

### 事業報告書

#### I 事業活動報告

#### II 利用実績

1. 介護度別利用実績
2. 月別延べ利用者数の状況
  - (1) 総合事業
  - (2) 介護保険利用者
  - (3) 総合計
3. 介護保険利用者の食事・入浴・送迎回数
4. デイサービス利用者年度別推移
5. 介護度別利用登録者数の月別推移

#### III 行事実績

以上

# I 事業報告

## 年間利用実績

令和5年度は、5月8日に5類への移行が行われたものの、引き続き新型コロナウイルス感染予防を行いながらサービスの提供を行いました。総合事業での利用者数は増減ありませんでしたが、要介護の利用者数は入院・施設入所による利用者減により、利用実績につきましては前年度を下回る実績となりました。今後も要支援・要介護にかかわらず広く利用者の受け入れを行い、利用実績確保に努めます。感染対策も新型コロナウイルスに感染した際の重症化リスクは依然として否定できない状況にある為、今後も感染予防を徹底したサービス提供に努めます。通所型サービスについては、介護保険非該当に属する高齢者が潜在的に多く、一定数の利用を確保していると考えます。「通所型サービス（緩和）」については、対象者に提供されるサービスが限られることにより、サービスを希望する利用者がいないことから、豊前市・吉富町・上毛町からの利用依頼はありません。総合事業によるデイ利用回数については、従来よりデイ利用を継続して利用していただいている方については週2回まで、新規の方については、要支援1は週1回、要支援2は週2回までの

利用を基本とし、本人・家族の要望やサービスの必要性、また施設行事等への参加希望があった際に、例外的に追加利用を認めている現在の利用方法を維持し、より利用者の生活スタイルにあったサービスが提供できるよう対応しています。総合事業による利用者が、今後も継続して利用できるように努めるとともに、状態に変化が見られた際には、適した介護区分に移行できるよう家族・ケアマネジャーと連携し対応します。

令和5年度は要介護者1名、総合事業利用者4名の計5名を新規利用者として契約。長期入院者5名、特養に入所及び短期入所のみ利用に変更した方が2名、他の事業所への利用変更・自宅療養者2名。令和5年5月現在、継続利用者数は総合事業（通所型）が23名（要支援1・要支援1相当が18名、要支援2が5名）、要介護者15名。

## Ⅱ 利用実績

### 1. 令和5年度介護度別利用実績

月	総合支援1	総合支援2	総合合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	総合計
4月	85	42	127	98	37	25	12	0	172	299
5月	95	52	147	99	31	28	13	0	171	318
6月	111	46	157	97	24	28	17	0	166	323
7月	116	37	153	98	30	23	18	0	169	322
8月	98	44	142	102	50	0	15	0	167	309
9月	99	42	141	85	74	0	16	0	175	316
10月	92	45	137	82	85	0	17	0	184	321
11月	83	51	134	69	62	4	10	0	145	279
12月	84	48	132	67	63	7	22	0	159	291
令和6年1月	77	39	116	73	59	29	19	0	180	296
2月	94	40	134	75	66	37	17	0	195	329
3月	104	39	143	70	60	24	9	0	163	306
合計	1138	525	1663	1015	641	205	185	0	2046	3709
総合計割合(%)	30.68%	14.15%	44.84%	27.37%	17.28%	5.53%	4.99%	0.00%	55.16%	100.00%

※総合支援1は要支援1と要支援1相当(事業対象者:非該当)を含む

### 2. 月別延べ利用者数の状況

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	127	24	5.3
5月	147	27	5.4
6月	157	26	6.0
7月	153	26	5.9
8月	142	27	5.3
9月	141	25	5.6
10月	137	26	5.3
11月	134	26	5.2
12月	132	26	5.1
令和6年1月	116	24	4.8
2月	134	25	5.4
3月	143	26	5.5
合計	1663	308	5.4

### (2) 介護保険利用者(要介護1以上)

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	172	24	7.2
5月	171	27	6.3
6月	166	26	6.4
7月	169	26	6.5
8月	167	27	6.2
9月	175	25	7.0
10月	184	26	7.1
11月	145	26	5.6
12月	159	26	6.1
令和6年1月	180	24	7.5
2月	195	25	7.8
3月	163	26	6.3
合計	2046	308	6.6

### (3) 総合計

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	299	24	12.5
5月	318	27	11.8
6月	323	26	12.4
7月	322	26	12.4
8月	309	27	11.4
9月	316	25	12.6
10月	321	26	12.3
11月	279	26	10.7
12月	291	26	11.2
令和6年1月	296	24	12.3
2月	329	25	13.2
3月	306	26	11.8
合計	3709	308	12.0

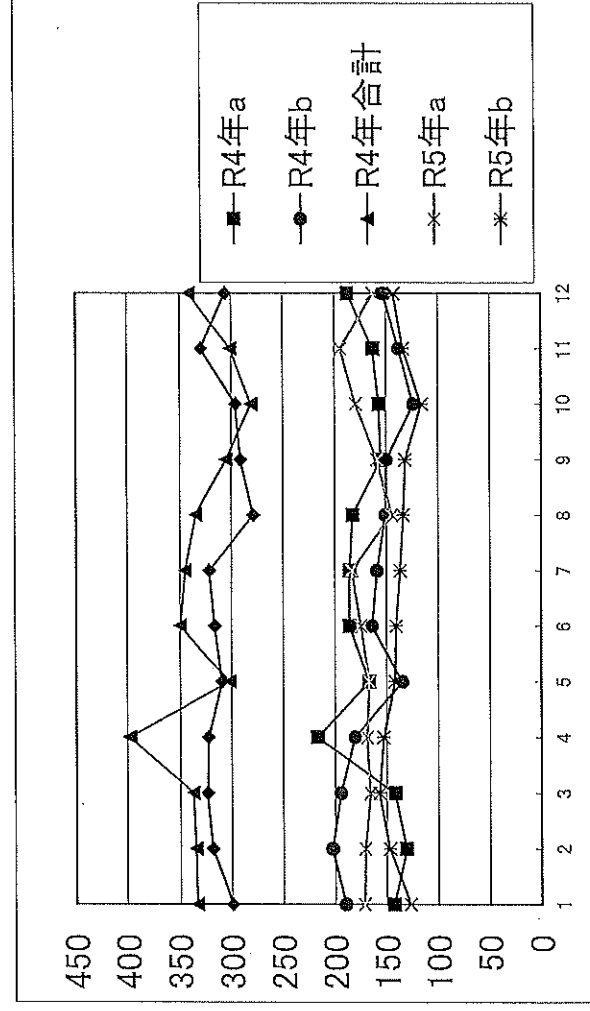
### 3. 介護保険(要介護1以上)利用者の食事・入浴・送迎回数

月	延べ人数	送迎			入浴		
		迎え	送り	一般	食事		
4月	172	170	172	152	172		
5月	171	171	168	154	171		
6月	166	165	166	153	166		
7月	169	167	169	153	169		
8月	167	166	167	146	167		
9月	175	170	175	149	175		
10月	184	180	184	152	184		
11月	145	145	145	120	145		
12月	159	159	159	136	159		
令和6年1月	180	174	180	155	180		
2月	195	194	195	169	195		
3月	163	160	163	143	163		
合計	2046	2021	2043	1782	2046		
割合(%)	-	98.8%	99.9%	87.1%	100.0%		

4. デイサービス利用回数の月別推移および前年度との比較

月	R4年a	R4年b	R4年合計	R5年a	R5年b	R5年合計
4	143	190	333	172	127	299
5	131	203	334	171	147	318
6	142	195	337	166	157	323
7	217	181	398	169	153	322
8	167	135	302	167	142	309
9	186	164	350	175	141	316
10	186	159	345	184	137	321
11	183	151	334	145	134	279
12	155	150	305	159	132	291
令和6年1月	157	124	281	180	116	296
2	163	138	301	195	134	329
3	188	153	341	163	143	306
合計	2018	1943	3961	2046	1663	3709

※ a:要介護1以上 b:総合(要支援1・2)



5. デイサービス介護度別利用登録者数の月別推移(実績のある方のみ)

月	総合支1	総合支2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	18	5	11	3	2	1	0
5月	18	6	10	2	2	2	0
6月	18	5	10	2	2	2	0
7月	19	4	10	2	2	2	0
8月	17	5	11	4	0	2	0
9月	17	5	9	6	0	2	0
10月	15	5	9	6	0	2	0
11月	16	6	7	5	1	2	0
12月	15	6	7	5	3	2	0
令和6年1月	15	5	6	5	3	2	0
2月	17	5	6	5	4	2	0
3月	18	5	6	5	3	1	0

### Ⅲ 令和5年度行事実績

月	行事	実施状況	参加利用者数
4/1	桜見バスハイク	大貞公園、吉富「道の駅」	8名
4/17 ～ 4/19	誕生会	ホールにて	37名
4/27	バスハイク	求菩提石楠花見学	12名
5/8 ～ 5/10	ショッピング	ゆめマート	17名
5/15 ～ 5/17	誕生会	ホールにて	36名
6/12～ 6/14	ショッピング	ゆめマート	15名
6/19 ～ 6/21	誕生会	ホールにて	33名
7/8	セタカラオケ大会	特養棟にて	6名
7/10～ 7/12	ショッピング	ゆめマート	16名
7/17 ～ 7/19	誕生会	ホールにて	34名

月	行事	実施状況	参加利用者数
8/7 ～ 8/9	ショッピング	ゆめマート	17名
8/14 ～ 8/16	誕生会	ホールにて	27名
9/11～13	ショッピング	ゆめマート	25名
9/18～ 9/20	誕生会	ホールにて	26名
10/9～ 10/11	ショッピング	ゆめマート	18名
10/12～ 10/14	バスハイク	三光コスモス見学	26名
10/16～ 10/18	誕生会	ホールにて	34名
11/13～ 11/15	ショッピング	ゆめマート	17名
11/16～ 11/18	紅葉バスハイク	耶馬溪	26名
11/20～ 11/22	誕生会	ホールにて	33名
12/11 ～ 12/13	ショッピング	ゆめマート	16名
12/18 ～ 12/20	誕生会	ホールにて	34名



令和 6年

月	行事	実施状況	参加利用者数
1/4 ～ 1/6	初詣バスハイク	大富神社 嘯吹八幡	26名
1/15 ～ 1/17	ショッピング	ゆめマート	18名
1/22 ～ 1/24	誕生会	ホールにて	32名
2/12 ～ 2/14	ショッピング	ゆめマート	17名
2/19 ～ 2/21	誕生会	ホールにて	34名
2/22～23	梅見バスハイク	椎田、網敷天満宮	21名
3/11 ～ 3/13	ショッピング	ゆめマート	19名
3/18 ～ 3/20	誕生会	ホールにて	32名

令和06年6月

はじめに

当居宅介護支援事業所は、要支援・要介護者・その家族の方の意向を基に地域での「自立」した生活支援のため、保険・医療等関連分野との連携を行いながら、介護計画の作成及び介護サービスの利用調整や行政サービスの調整を行いました。

居宅介護支援事業について、介護保険の理念に則り、要介護1以上の方に支援を行いました。介護予防の居宅支援事業も、地域包括支援センターからの委託を受け、要支援と認定された高齢者の方の支援を行いました。

利用者状況について

現在(令和06年、3月末)の当事業所において介護の支援を行っている登録者の方は41人で、要支援1・要支援2の認定で、地域包括支援センターから、委託を受けて居宅支援を行っている方は1人です。

サービス利用の実績について

令和5年度の、毎月の居宅支援実績を行った人数を、(表1)に表しました。  
令和5年度(表1)は、総数577人の居宅支援サービスのを行い、月平均 48人となっています。

表1 令和05年度 居宅支援実績 (月別) (人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	26	27	27	24	24	22	21	18	18	17	16	15	255
要介護2	11	12	12	11	14	17	17	16	15	15	16	15	171
要介護3	5	5	5	5	4	4	6	5	6	7	7	6	65
要介護4	7	7	7	8	8	8	5	6	5	5	4	5	75
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
月計	50	52	52	49	51	52	50	46	45	45	44	41	577

現在の利用者の方の介護度別に表したものが、下記のグラフになります。  
 要介護1の利用者の減少傾向とともに要介護2・3の方の割合が増えています。  
 利用者個々の状況に応じ、本人意向を尊重して、支援内容や事業所を選定し、必要なサービス提供を行ってまいります。

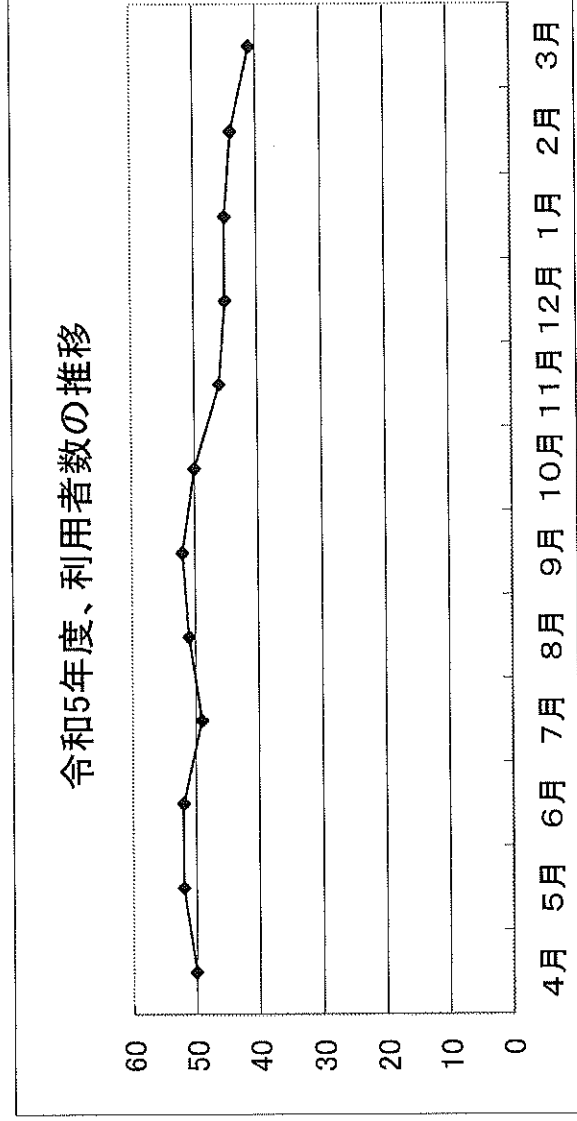
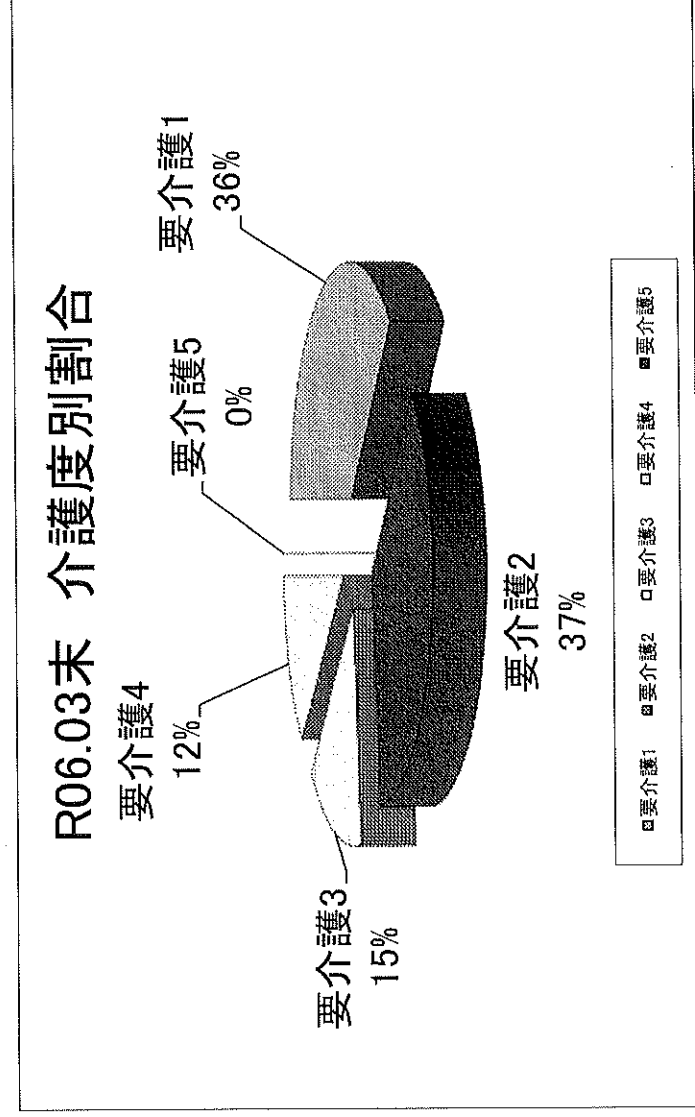


表3は、要支援認定を受けられた方、いわゆる予防の介護を受けられており、当事業所で居宅支援を受けられているかた(プランを立てている方)です。

表2 令和05年度 予防支援実績 (月別)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(人)
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

新年度への取り組みについて

居宅介護支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者・家族に対しサービスの提供方法について、理解しやすいように説明を行う。

運営基準減算に該当しないよう、毎月利用者の居宅訪問・モニタリング・担当者会議・評価を確実に責任を持って行う。

専門職としての、業務を的確に行なえるよう内外的な研修会に参加し、資質向上に努める。さらに、人材の育成や教育機能の強化を図り、選ばれる事業所となるよう努める。

利用者の自立した日常生活の支援を効果的に行うために、利用者の心身や家族の状況等に応じて継続的かつ計画的にサービス利用を行う。